

## 授業改善の実際

### 中学校美術科 第1学年

#### 題材名 「文字のデザイン～わたしの一文字」

〔「A表現」(1) イ(イ) (2) ア(ア)(1)、「B鑑賞」(1) ア(イ)、〔共通事項〕(1) アイ〕

本資料は、PDCAサイクルを意識した授業改善の実際について、特にCheck（評価）の段階とAction（改善）の段階に焦点を当てています。生徒の状況を踏まえ、CheckをActionへつなげていくための具体をまとめました。

#### 題材について

#### 目指したい生徒の姿

身の回りの伝達の表現に注目し、形や色彩の効果を実感するとともに、中学校から新しく使うポスターカラーの平塗りを生かすことができるようになりたい。



新しくものをつくりだす活動を通して、楽しく学習に取り組むことができるようになりたい。

文字の意味や全体のイメージを基に主題を設定し、分かりやすさと形や色彩などの工夫を考えることができるようになりたい。



#### 題材の目標

##### (1) 「知識及び技能」に関する題材の目標

- ・文字や文字が意味するものの形や色彩などが感情にもたらす効果や、造形的な特徴などを基に、全体のイメージで捉えることを理解する。〔〔共通事項〕〕
- ・意図に応じて表現方法を工夫して、制作の順序などを総合的に考えながら、見通しをもって表す。〔「A表現」(2)〕

##### (2) 「思考力、判断力、表現力等」に関する題材の目標

- ・文字の意味や全体のイメージを基に、伝える相手や場面などから主題を生み出し、分かりやすさと形や色彩などの調和を考え、表現の構想を練る。〔「A表現」(1)〕
- ・文字の意味と分かりやすさとの調和のとれた美しさなどを感じ取り、作者の心情や表現の意図と工夫などについて考えるなどして、見方や感じ方を広げる。〔「B鑑賞」(1)〕

##### (3) 「学びに向かう力、人間性等」に関する題材の目標

- ・美術の創造活動の喜びを味わい、文字の意味と分かりやすさの調和のとれた文字を表現したり鑑賞したりする学習活動に取り組もうとする。

#### 題材の評価規準

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
知 文字や文字が意味するものの形や色彩などが感情にもたらす効果や、造形的な特徴などを基に、全体のイメージで捉えることを理解している。	発 文字の意味や全体のイメージを基に、伝える相手や場面などから主題を生み出し、分かりやすさと形や色彩などの調和のとれた文字のデザインについて、伝える相手や場面を考えて構想を練り、意図に応じて工夫し見通しをもって表す表現の学習活動に取り組もうとしている。	態表 美術の創造活動の喜びを味わい、文字の意味と分かりやすさ、形や色彩などとの調和のとれた文字のデザインについて、伝える相手や場面を考えて構想を練り、意図に応じて工夫し見通しをもって表す表現の学習活動に取り組もうとしている。
技 意図に応じて表現方法を工夫して、制作の順序などを総合的に考えながら、見通しをもって表している。	鑑 文字の意味と分かりやすさとの調和のとれた美しさなどを感じ取り、作者の心情や表現の意図と工夫などについて考えるなどして、見方や感じ方を広げている。	態鑑 美術の創造活動の喜びを味わい、文字の意味と分かりやすさ、形や色彩などとの調和のとれた美しさなどを感じ取り、作者の心情や表現の意図と工夫などについて考えるなどの見方や感じ方を広げる鑑賞の学習活動に取り組もうとしている。

#### 指導と評価の計画

\*本計画は、題材の実践を想定したPlanの段階のものを簡易的に示しています。

●学習のねらい・主な学習活動	知・技	思	態	評価方法・留意点等
1. 鑑賞（1時間） ●広告や新聞等の見出しや本文の文字に注目し、文字の形や色彩などの違いによって受ける印象の違いを考える。 ・文字に注目し、感じたことや考えたことなどの意見を述べ合う。	知 ↓	鑑 ↓	態鑑 ↓	知【発言の内容、ワークシート】 鑑【発言の内容、ワークシート】 態鑑【活動の様子、ワークシート】
2. 発想（1時間） ●発想を広げ、主題を生み出す。 ・自分が選択した文字について、その文字の意味を調べる。 ・選択した文字の意味から連想できるものを、思考ツール（マインドマップ）に書き出す。 ・グループで各自の思考ツール（マインドマップ）を見せ合い、ほかにも連想できるものに関して意見を述べ合う。	発 ↓	思 ↓	態表 ↓	発【ワークシート（マインドマップ）】 態表【活動の様子】
3. 主題設定、構想（1時間） ●主題を基に、構想を練る。 ・思考ツール（マインドマップ）に表した連想できるものを簡単にイラストで描き表す。 ・文字絵の主題を設定する。 ・主題を基に、文字の点画にその文字の意味やその文字の意味から連想するものを組み合わせながら、構想を練る。	発 ↓	思 ↓	態表 ↓	発【ワークシート（マインドマップ）】 態表【活動の様子】
4. 構想、下書き（1時間） ●発想や構想を基に、意図に応じて表現方法を考え、下書きを進める。 ・思考ツール（マインドマップ）に描いたイラストを基に、下書きをする。着色を想定しながら下書きを進める。 ・アイデアスケッチをグループで見せ合い、それぞれの考えを知る。 ・アイデアスケッチを清書用紙に転写し、配色計画を立てる。	発 ↓	思 ↓	態表 ↓	発【ワークシート（アイデアスケッチ）】 態表【活動の様子、ワークシート（アイデアスケッチ）】
5. 制作（4時間） ●発想や構想を基に、意図に応じて表現方法を工夫し、見通しをもって表す。 ・形や色彩などが感情にもたらす効果を生かし、意図に応じて表現方法を工夫して、見通しをもって表す。 ・制作の途中に鑑賞を行い、客観的な視点に立って他者の作品を見たり自分の意図を説明したりすることにより、表したいものをより一層明確にしていくなどしながら作品を完成させる。	知・技 ↓	発 ↓	思 ↓	知・技【作品】 発【ワークシート（アイデアスケッチ）】 態表【活動の様子、作品、ワークシート（アイデアスケッチ）】
6. 鑑賞（1時間） ●生徒作品を鑑賞し、伝達のデザインについての見方や感じ方を広げる。 ・完成した作品を互いに鑑賞し、感じたことや考えたことを説明し合い、主題と表現の関係や、意図と工夫などについて考え、見方や感じ方を広げる。	知 ↓	鑑 ↓	態鑑 ↓	知【発言の内容、ワークシート】 鑑【活動の様子、ワークシート】 態鑑【活動の様子】
〈授業外：題材が終了後〉	知・技 ↓	鑑 ↓	態鑑 ↓	知・技【完成作品や表現及び鑑賞のワークシートなどから知・技の評価を再確認し、必要に応じて修正する。【完成作品、ワークシート】】 鑑【作品の造形的なよさや美しさを感じ取り、作者の心情や表現の意図と工夫などについて考え、見方や感じ方が広がっているかをワークシートで見取り評価する。【ワークシート】】 態鑑【完成作品や表現及び鑑賞のワークシート等を完成作品と併せて、再度見取り、必要に応じて修正する。【完成作品、ワークシート】】

## 授業の実際

◎第2時の生徒の学習の成果を基に、第3時と第4時の授業を改善しました。

Check：生徒の学びの状況を把握し、生徒の学習の成果を振り返る。

□第2時（発想を広げ、主題を生み出す）において

この時間は、文字絵の主題（テーマ）を生み出すために、自分が選択した文字について、その文字の意味を調べます。そして、選択した文字の意味から連想するものを、思考ツール（マインドマップ）に書き出していきましょう。

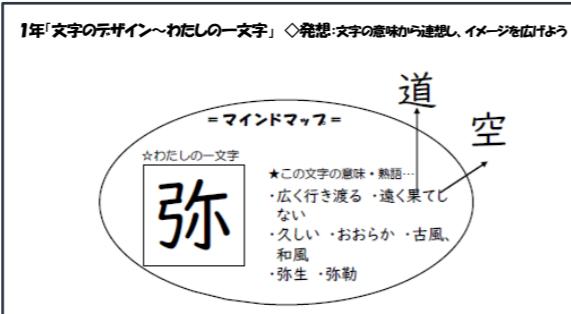
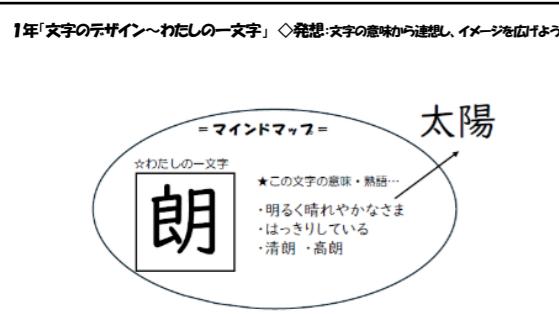
めあて：わたしの名前にある一文字を、ほかの人に分かりやすく、楽しく伝えられる文字絵にするためのアイデアを広げよう。

## 【グループでの対話の様子】



「朗」の文字の意味は「明るく晴れやか」や「はっきりしている」か…。「太陽」くらいしか思い付かないな。ほかにある？

## 【ワークシート（マインドマップ）の記述】



多くの生徒が、文字の意味から連想することが難しかったようだな。  
参考作品を示し、どのような文字絵を制作するのか、次の時間にもう一度確認をしよう。

「文字のこのようなことを表そう」とする主題があると、ほかの人に伝わりやすいこと、主題を設定するにはその文字の意味をよく知っておく必要があることに気付くことができるようになります。

主題を設定するために、発想や自分の思いを表現することに対する手立てがもっと必要かもしれない。第2時に書き出したものから更に広げることができるように、文字の意味からつなげたり熟語から考えたりすることができるようになります。

「平」の字は、文字の意味にある「たいら」が身近にあるものにつながりやすいかな。熟語もいろいろある。また、文字の意味に形容詞も入っているので、参考例に使えるかな。

## Action：学習の成果の振り返りを基に、次時の授業に向けて、改善を行う。

- 改善①…再度参考作品を鑑賞し、どのような文字絵を制作するのかを確認することで、めあての設定につなげる。
- 改善②…「私はこのように表したい」と主題を設定するために、連想するものを更に広げることができるようにする。

改善①…再度参考作品を鑑賞し、どのような文字絵を制作するのかを確認することで、めあての設定につなげる。

□第3時の導入において



参考作品をもう一度見てみましょう。この文字絵は文字のどのようなことを表していますか？



文字の意味から連想できるものを、点画の形に似ているところに組み合わせています。誰でも一目でその文字の意味が分かりそうです。

この作品の作者は、この文字のどのような意味を表そうとしていると思いますか？



図形や図を描く道具を組み合わせて表した「図」です。地図も含まれていて、「図」が入った熟語も生かしています。

「文字のこのようなことを表そう」とする作者の思いがみなさんにも伝わったようですね。作者の思いがこの作品の主題となります。



「文字のこのようなことを表そう」という思いがあると、ほかの人に分かりやすいですね。そのためには、文字の意味をよく知っておく必要がありますね。

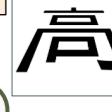
\*本時のねらいに即した気付きを、下線で示しています。

よいところに気付きましたね。「文字のこのようなことを表そう」と考えをまとめるには、文字の意味をよく知っておくことが大切ですね。そのほかの作品はどうですか？



この「高」の文字絵は、文字の意味を文字全体で表現していると思います。まだまだ上に伸びて、文字全体で高くなる様子を表したアイデアだと思います。

参考作品



よいところに気付きましたね。文字の意味から連想したものや文字が意味するものが、文字絵のアイデアにつながっていますね。また、連想するものがいろいろあるほう、これまで誰も思い付かなかったアイデアが生まれるかもしれません。今日はそれぞれの文字絵のアイデアをまとめていきましょう。どのような文字絵を制作するのかを踏まえて、今日のめあてを確認しましょう。

めあて：ほかの人に分かりやすく、楽しく伝えられる文字絵の主題を設定しよう。

前の時間は、文字の意味から連想するものを広げてみましたが、みなさんはどのくらい広げられましたか？文字の意味から連想したものを基に、どのように表すか、考えはまとまりそうですか？



2つ思い付いたけれど、ほかの人が「楽しくなるほど」と感じるものがほしい。意味をもう一度確認しよう。

「明るく晴れやかなさま」という意味から、どう連想したらよいのだろう？「太陽」だけで「朗」を表すのは難しそうだな…。



多くの人が、連想をどのように広げればよいのか悩んでいたり、連想するものがもう少し必要だと感じたりしているようですね。では、「平」の字を例にみなさんで連想してみましょう。

改善②…「私はこのように表したい」と主題を設定するために、連想するものを更に広げることができます。

□第3時の展開において

関連するものから連想する

「平」の字を例に、意味から連想するものを思い付くま、つなげてみましょう！



文字の意味：たいら、穏やかなど

熟語：平行、平和、平等、平常、公平、水平、平坦など

「たいら」は、まっすぐ。まっすぐなものと言えば、水平線とかものさしでいいですか？熟語の「平行」や「水平」とも重なります。「平行」はものさしや三角定規でつくることができそうです。これも連想するものに当たるかもしれません。

はい、当たるかもしれません。熟語にもよく気付きましたね。このようにもしかしたら、選択した文字と関係ない感じのものを連想するかもしれません。主題につながることもありますよ。連想するものを、どんどん広げてみましょう！

連想するって、何かしら関係するものでいいのか！ひとまず自分で考えたものをつなげてみよう。熟語からもう少し広げられるかもしれません。

自分にとってそのように感じるもの

「平」には、「穏やか」という意味もあります。みなさんに「穏やか」と感じるものは何ですか？

ちなみに、私は、絵を描いたり、コーヒーを飲んだりすることかな。

友達と遊んでいるときです。

ペットと過ごすときに穏やかな気持ちになります。

文字の意味に形容詞が含まれるなら、「自分にとってそのように感じるもの」を挙げてみましょう。人それぞれで、いろいろな考え方がありますね。「私はこのようなことから、こう考える」という自分の思いを大切にしましょう。どうしても連想が広がらないときは、近くの人の意見が何かヒントになるかもしれませんよ。

「太陽」だけだと「朗」の意味が伝わりにくいな。「明るく晴れやか」からもう少し広げてみると、自分にとって、黄色とか明るい青色のイメージかな。これらの色から連想してみよう！

よし、前の時間のマインドマップから連想を広げて、自分が何を表すか決めることができそうだな。配色を考えるときにも、自分の思いを大切にできるように指導しよう！

第3時の振り返りより

①主題を生み出す上で大切だと感じたこと  
②難しかったこと、うまくいかなかったこと

【ワークシートの記述】

① 文字の意味を分かった上で考えること	① その文字の意味を知って連想すること	文字の意味や連想するものから主題を生み出そうとする生徒が増えた。また、制作を進めていく上で難しく感じていることも出てきている。次時、構成や配色について説明したり、個別に対応したりしよう。
② 自分の思いをまとめていくことが難しい	② 意味が分かっていても、どこに何を描こうか思い付かなかった	

次のPlanに生かすために…

・題材や本時で何を学ぶことができたのか、学習のねらいに沿った振り返りを行う。  
→生徒が自分の学びを振り返る機会を設定し、生徒の学習の成果（ワークシートの記述や作品等）と学びの実感（振り返りの記述）の両面から見取っていく。

・題材全体の構成を再検討し、題材の目標又は毎時間のねらいに即した学習の展開や活動について見直し、改善を行い、次のPlanに生かす。  
→Doの段階で実践しての気付きや課題などを、Planの段階で作成した題材の指導と計画などに記録したり、生徒の学習状況を振り返ったりしながら、継続的な授業改善につなげる。

最後に、CheckとActionの段階を踏まえ、改善した指導と評価の計画を示します。当初の計画に改善を加えた箇所は、枠組みとハイライトで示しています。

改善した 指導と評価の計画

\*本計画は簡易的に示しています。

●学習のねらい・主な学習活動	知・技	思	態	評価方法・留意点等	
1. 鑑賞（1時間） ●広告や新聞等の見出しや本文の文字に注目し、文字の形や色彩などの違いによって受ける印象の違いを考える。 ・文字に注目し、感じたことや考えたことなどの意見を述べ合う。	知 ↓	鑑 ↓	態 鑑 ↓	知【発言の内容、ワークシート】 鑑【発言の内容、ワークシート】 態鑑【活動の様子、ワークシート】	
2. 発想（1時間） ●発想を広げ、主題を生み出す。 ・自分が選択した文字について、その文字の意味を調べる。	発 ↓	態表 ↓		発【ワークシート（マインドマップ）】 態表【活動の様子】	
3. 発想、主題設定（1時間） ●発想を前時のものから広げ、主題を生み出す。 ・前時に選択した文字の意味から連想するものを更に広げる。 ・思考ツール（マインドマップ）に表した連想するものを簡単にイラストで描き表す。 ・文字絵の主題を生み出す。	発 ↓	態表 ↓	発【ワークシート（マインドマップ）】 態表【活動の様子】	発文字の意味やその文字の意味から連想するものを基に、主題を生み出そうとしているかを暫定的に評価する。【ワークシート（マインドマップ）】 態表主体的に知識を活用しながら、主題を生み出そうとする学習活動に取り組もうとする態度を評価する。【活動の様子、ワークシート（マインドマップ）】	
4. 構想、制作（1時間） ●主題を基に、構想を練る。 ・主題を基に、文字の点画にその文字の意味やその文字の意味から連想するものを組み合わせながら、構想を練る。 ・思考ツール（マインドマップ）に描いたイラストを基に、下書きをする。着色を想定しながら下書きを進める。 ・アイデアスケッチをグループで見せ合い、それぞれの考えを知る。 ・アイデアスケッチを清書用紙に転写し、配色計画を立てる。	発 ↓	態表 ↓	発【ワークシート（アイデアスケッチ）】 態表【活動の様子、ワークシート（アイデアスケッチ）】	発主題を基に、分かりやすさと形や色彩などの調和などを考え、表現の構想を練っているかを暫定的に評価する。授業外で主題や構想の工夫などを記述したワークシート等を、完成作品と併せて再度見取り、必要に応じて修正する。【ワークシート（アイデアスケッチ）】 態表主体的に知識を活用しながら、構想の学習活動に取り組もうとする態度を評価する。【活動の様子、ワークシート（アイデアスケッチ）】	
5. 制作（4時間） ●発想や構想を基に、意図に応じて表現方法を工夫し、見通しをもって表す。 ・形や色彩などが感情にもたらす効果を生かし、意図に応じて表現方法を工夫して、見通しをもって表す。 ・制作の途中に鑑賞を行い、客観的な視点に立って他者の作品を見たり自分の意図を説明したりすることにより、表したいものをより一層明確にしていくなどしながら作品を完成させる。	知・技 ↓	発 ↓	態表 ↓	知・技【作品】 発【ワークシート（アイデアスケッチ）】 態表【活動の様子、作品、ワークシート（アイデアスケッチ）】 知・技作品から、意図に応じて表現方法を工夫して表しているかなどを見取ることでも、形や色彩などの効果や全体のイメージで捉えることを併せて見取り、知・技と知・鑑として一體的に評価する。【作品、ワークシート（アイデアスケッチ）】 態表主体的に制作に取り組み、形や色彩などの効果や全体のイメージで捉えることを理解しようとして、意図に応じて工夫して表そうとしている態度を評価する。【活動の様子、作品、ワークシート（アイデアスケッチ）】	
6. 鑑賞（1時間） ●生徒作品を鑑賞し、伝達のデザインについての見方や感じ方を広げる。 ・完成した作品を互いに鑑賞し、感じたことや考えたことを説明し合い、主題と表現の関係や、意図と工夫などについて考え、見方や感じ方を広げる。	知 ↓	鑑 ↓	態鑑 ↓	知【発言の内容、ワークシート】 鑑【活動の様子、ワークシート】	鑑主体的に作品を鑑賞し、形や色彩などの効果や全体のイメージで捉えることを理解しようとして、造形的なよさや美しさを感じ取ろうとしたり、作者の心情や表現の意図と工夫などについて考えようとしているかを評価する。【活動の様子】
（授業外：題材が終了後）	知・技 ↓	鑑 ↓	発 ↓		知・技完成作品や表現及び鑑賞のワークシートなどから知・技の評価を再確認し、必要に応じて修正する。【完成作品、ワークシート】 鑑作品の造形的なよさや美しさを感じ取り、作者の心情や表現の意図と工夫などについて考え、見方や感じ方が広がっているかをワークシートで見取り評価する。【ワークシート】 発発想や構想について、主題や構想の工夫などを記述したワークシート等を完成作品と併せて、再度見取り、必要に応じて修正する。【完成作品、ワークシート】

\*詳細は、「学習指導プラン」、「題材デザイン FIRST STEP\_R7版」を御覧ください。